



「実践的リスクアセスメント導入指導会」に参加しました！

9/27 林業・木材製造業労働災害防止協会鹿児島県支部による「実践的リスクアセスメント導入指導会」に参加した。県内から林業関係者・木材加工関係者・プレカット工場などから 20 名の参加があった。初めに今年の県内の死傷災害の説明があり、8 月末時点で令和 5 年度と比べ、木材製造業で 15 人と 15.4% 増えており、林業では 34 人と 30.8% の増加であり、緊急に対策を講じる必要があるとの説明だった。次に再発防止対策について、指差し呼称や、回転軸への安全カバーの設置、立ち入り禁止区域の設定、清掃点検中の機械停止等、事故の実例を示し、それらの事を徹底するように指導された。

その後、5 グループに分かれ、木材製造業版・実践マニュアルに沿って研修を行った。我々のグループは「トラックの原木積み込み作業」他 3 つの作業について検討した。作業状況図を見ながら、「簡易リスクアセスメント記録書」に危険の洗い出し、事故の起こりうるリスクを記入し、リスク低減策を検討した。まず、「積み込み中に原木が落下し、歩行者に激突する可能性がある」として、「トラックに積み込み高さより長い縦棒を立て、落下を防止する」「カラーコーン等を設置し立入禁止とする」という事で事故のリスクを最小限にする事等を発表した。

今回の指導講習を通じ、危険を予測する事 (KYT 危険予知) の必要性を再認識した。当社で過去に起きた事故を考えてみると、何故、そんなことをしたのだろうと思うが、当事者は事故につながると意識していなかった事が分かる。例えば、回転する刃物のスイッチは切ったが、まだ刃物が回転している最中に安全カバーを持ち上げ、巻き込まれた事や、作業着の袖のボタンを留めずに刃物越しに品物をとろうとして、巻き込まれる等、作業時に危険を予知していなかった事が悔やまれる。作業をする場合は、ただ怖がるのではなく、しっかりと危険を予測して、安全な作業方法で行うことが大事だと再確認した。

【情報】

「第 58 回全国木材産業振興大会鹿児島大会」が開催されます

日時 10 月 31 日 (木) PM1:00~5:15

場所 川商ホール (鹿児島市民文化ホール) 第 2 ホール

主催 (一社) 全国木材組合連合会・全国木材協同組合連合会
鹿児島県林材協会連合会・県木協連

内容 記念講演・表彰他

「再造林の推進について」 鹿大農学部長 寺岡幸雄氏

「感謝のプラス思考」 4 代目 三遊亭圓歌

令和 2 年鹿児島で開催予定の第 54 回大会がコロナ禍で中止となり、5 年越しの大会です。全国から 800 人超の参加予定です

【定休日】

10 月は 5, 6, 12, 13, 19, 20, 26, 27 日

11 月は 2, 3, 9, 10, 16, 17, 22, 24 日となります

宜しくお願ひします



研修で使用したテキスト